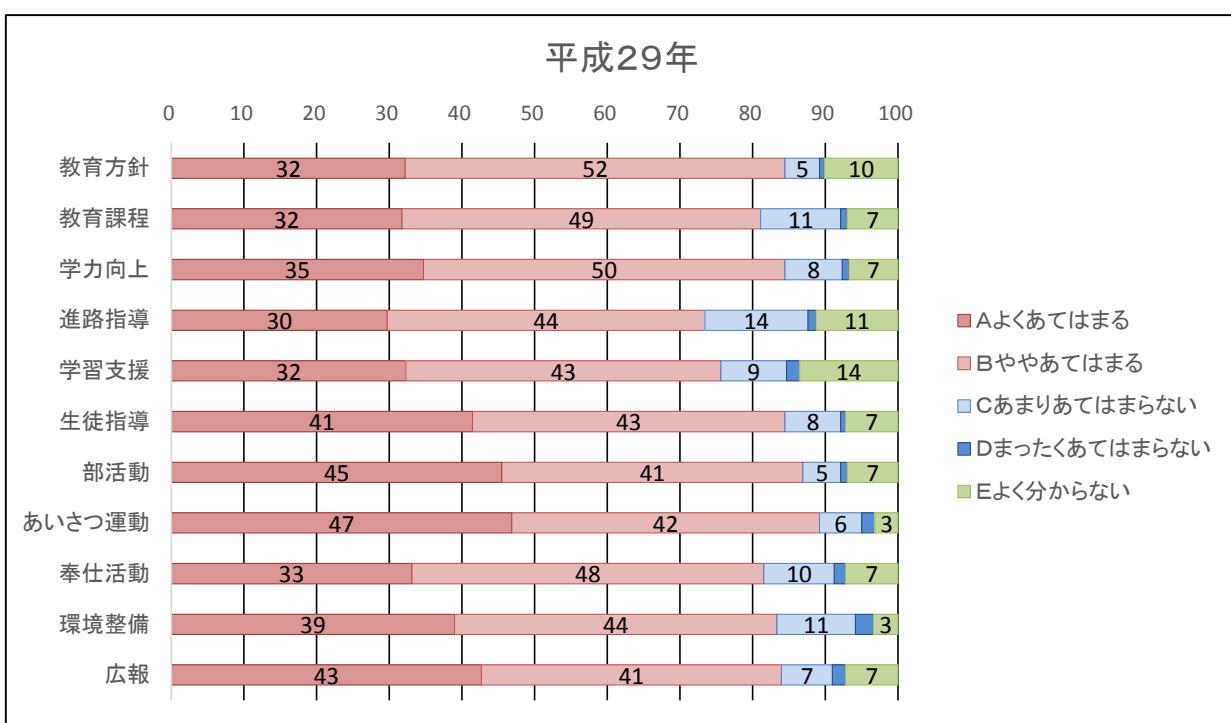
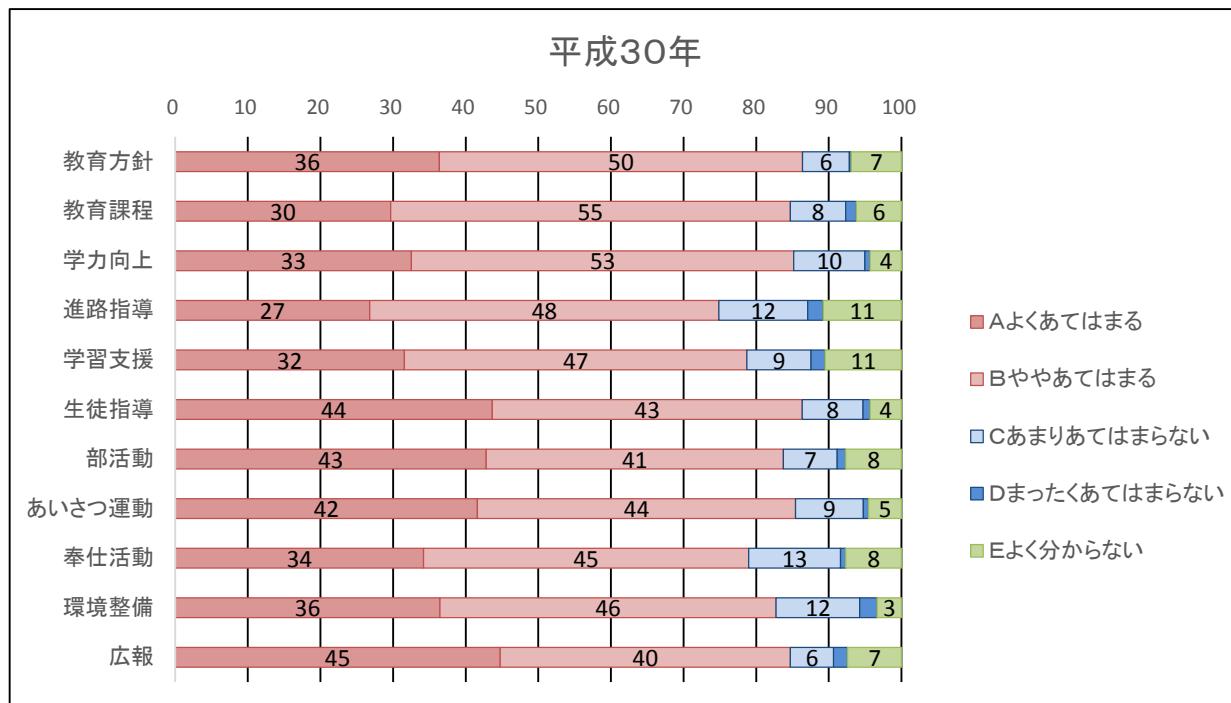


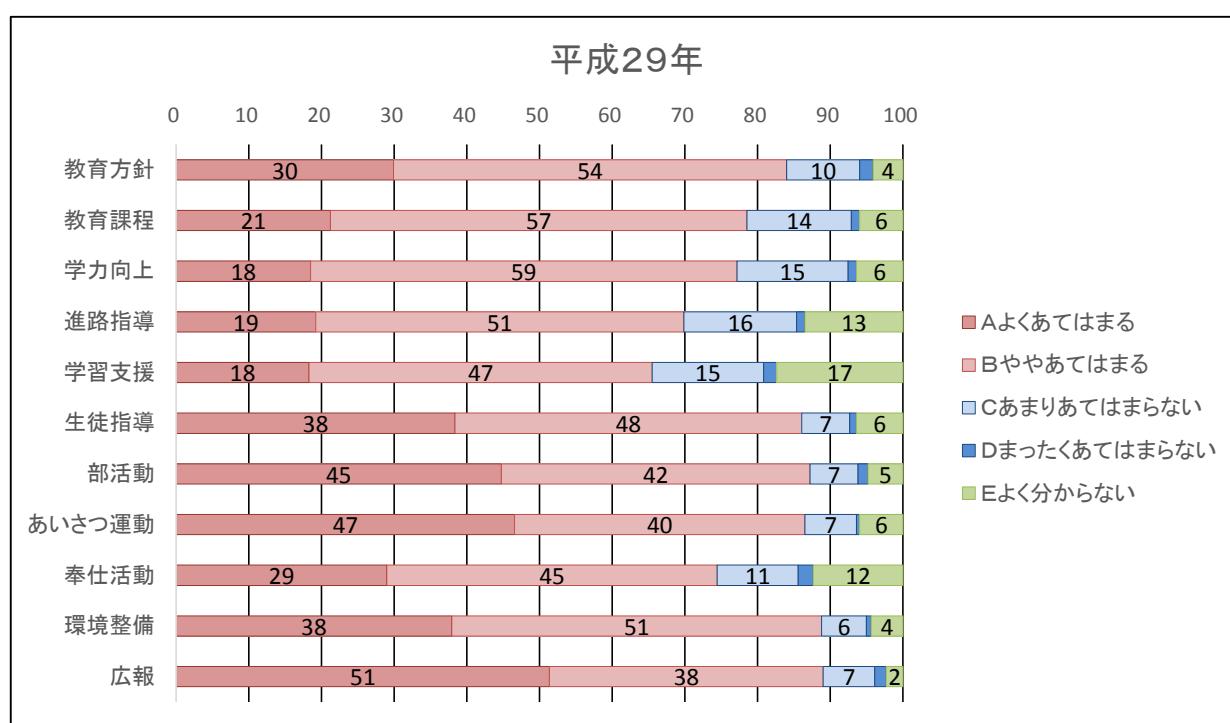
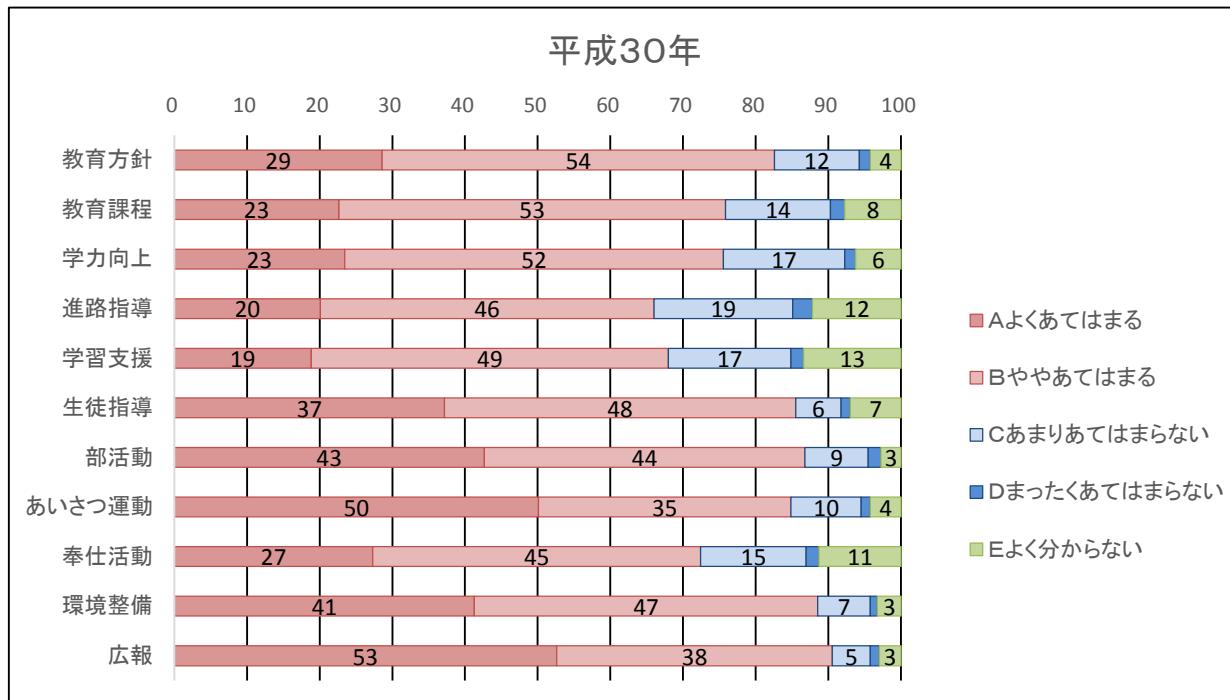
## 学校教育評価結果【生徒】

1	学校新聞、PTAだより、HP、その他各種の便りなどで、学校の教育方針を分かりやすく伝えている。	教育方針
2	生徒の適性や進路希望に応じた教育課程（授業）を用意している。	教育課程
3	生徒が基礎・基本を定着できるよう配慮し、学力の向上に努めている。	学力向上
4	生徒一人ひとりに合った進路指導を行い、成果をあげている。	進路指導
5	生徒のニーズに応えた学習支援（プラスワンルーム活用、英検プラスワン講座（英検チャレンジ・G T E C 対策）、のぞみが丘学習会等）を行い、成果をあげている。	学習支援
6	基本的な生活習慣の確立を目指して遅刻指導や服装指導等を行い、成果をあげている。	生徒指導
7	生徒が積極的に部活動に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	部活動
8	学校全体でいさつ運動に取り組んでおり、生徒は自発的にいさつができるよう指導している。	いさつ運動
9	生徒が積極的にボランティア活動等に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	奉仕活動
10	学校内の清掃がいき届いており、生徒が落ち着いて学べる環境が整備されている。	環境整備
11	生徒・保護者にclassiで連絡したり、学校行事等をHPに掲載するなど、積極的に広報活動を行っている。	広報



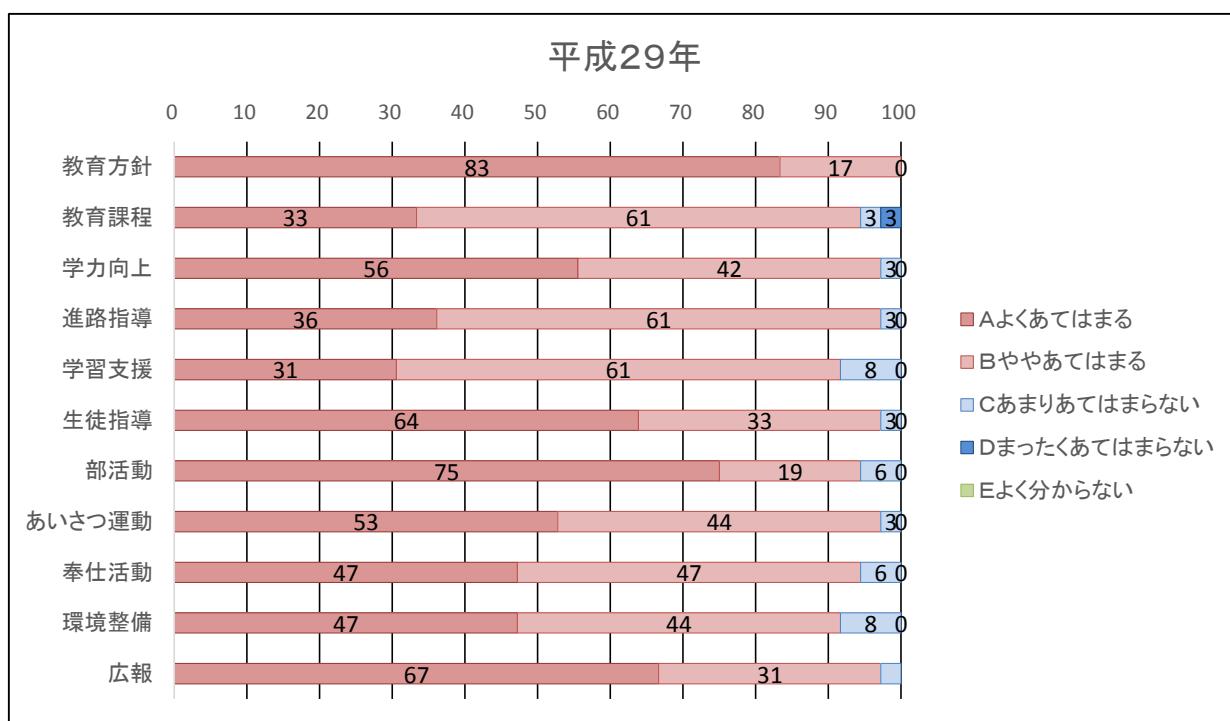
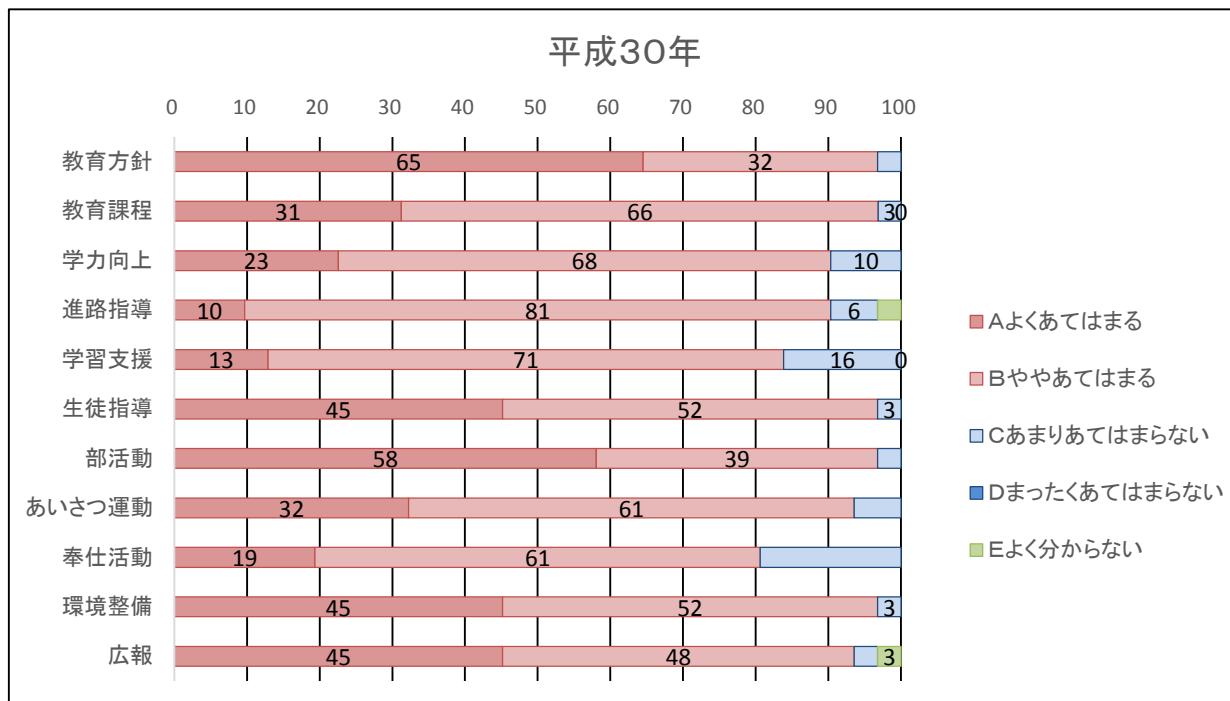
## 学校教育評価結果【保護者】

1	学校新聞、PTAだより、HP、その他各種の便りなどで、学校の教育方針を分かりやすく伝えている。	教育方針
2	生徒の適性や進路希望に応じた教育課程（授業）を用意している。	教育課程
3	生徒が基礎・基本を定着できるよう配慮し、学力の向上に努めている。	学力向上
4	生徒一人ひとりに合った進路指導を行い、成果をあげている。	進路指導
5	生徒のニーズに応えた学習支援（プラスワンルーム活用、英検プラスワン講座（英検チャレンジ・G T E C 対策）、のぞみが丘学習会等）を行い、成果をあげている。	学習支援
6	基本的な生活習慣の確立を目指して遅刻指導や服装指導等を行い、成果をあげている。	生徒指導
7	生徒が積極的に部活動に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	部活動
8	学校全体でいさつ運動に取り組んでおり、生徒は自発的にいさつができるよう指導している。	いさつ運動
9	生徒が積極的にボランティア活動等に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	奉仕活動
10	学校内の清掃がいき届いており、生徒が落ち着いて学べる環境が整備されている。	環境整備
11	生徒・保護者にclassiで連絡したり、学校行事等をHPに掲載するなど、積極的に広報活動を行っている。	広報



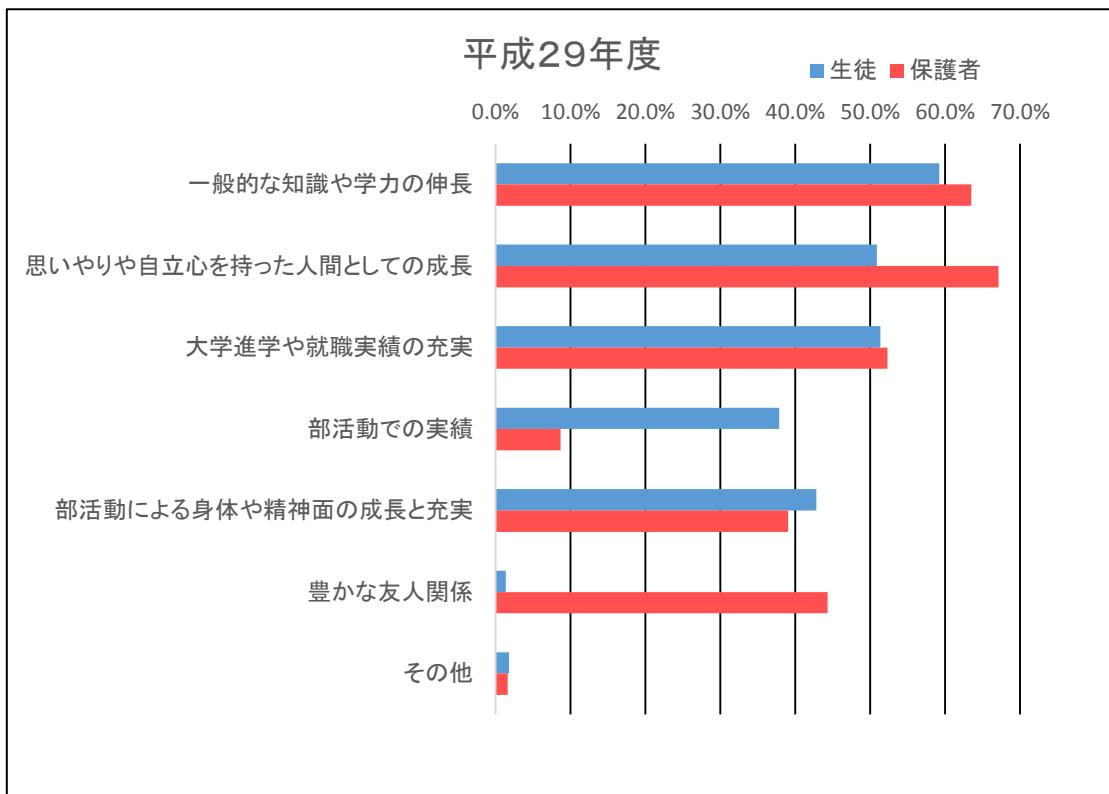
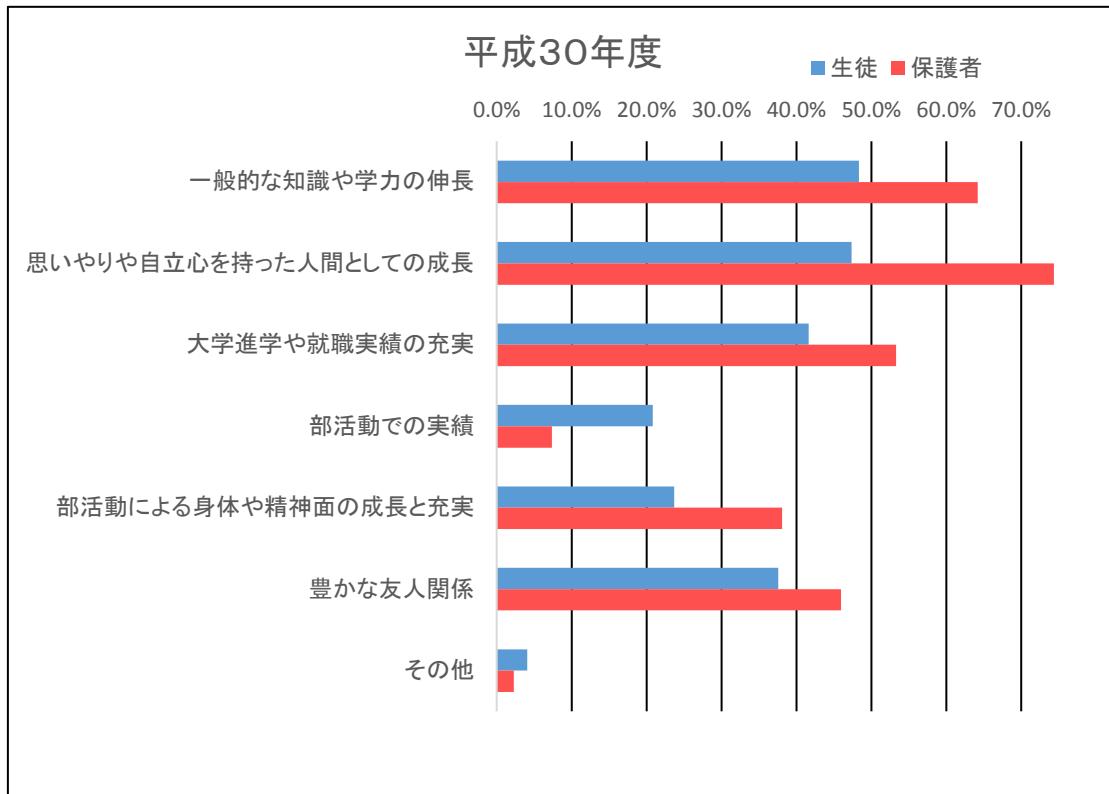
## 学校教育評価結果【職員】

1	学校新聞、PTAだより、HP、その他各種の便りなどで、学校の教育方針を分かりやすく伝えている。	教育方針
2	生徒の適性や進路希望に応じた教育課程（授業）を用意している。	教育課程
3	生徒が基礎・基本を定着できるよう配慮し、学力の向上に努めている。	学力向上
4	生徒一人ひとりに合った進路指導を行い、成果をあげている。	進路指導
5	生徒のニーズに応えた学習支援（プラスワンルーム活用、英検プラスワン講座（英検チャレンジ・G TEC対策）、のぞみが丘学習会等）を行い、成果をあげている。	学習支援
6	基本的な生活習慣の確立を目指して遅刻指導や服装指導等を行い、成果をあげている。	生徒指導
7	生徒が積極的に部活動に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	部活動
8	学校全体でいさつ運動に取り組んでおり、生徒は自発的にいさつができるよう指導している。	いさつ運動
9	生徒が積極的にボランティア活動等に取り組むことができるよう指導し、成果をあげている。	奉仕活動
10	学校内の清掃がいき届いており、生徒が落ち着いて学べる環境が整備されている。	環境整備
11	生徒・保護者にclassiで連絡したり、学校行事等をHPに掲載するなど、積極的に広報活動を行っている。	広報

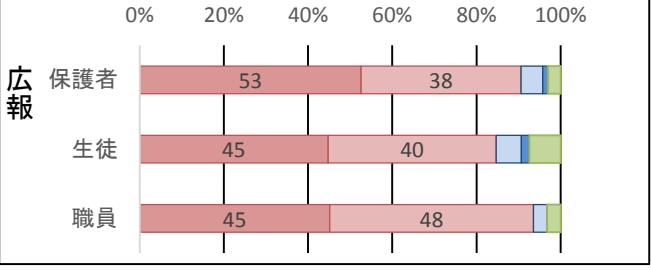
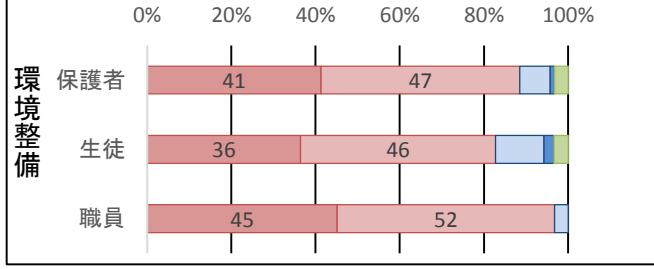
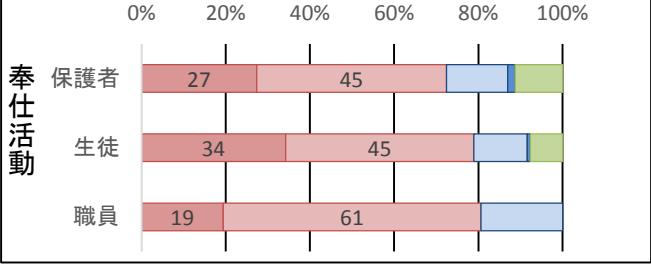
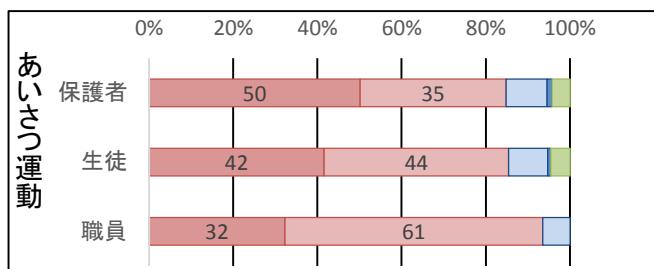
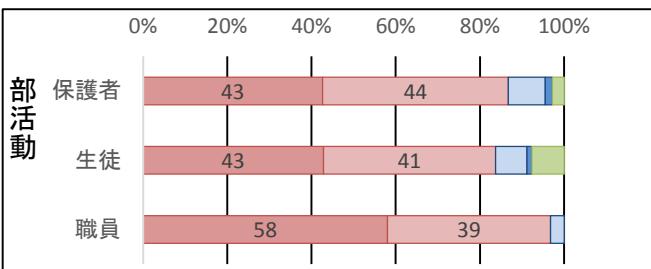
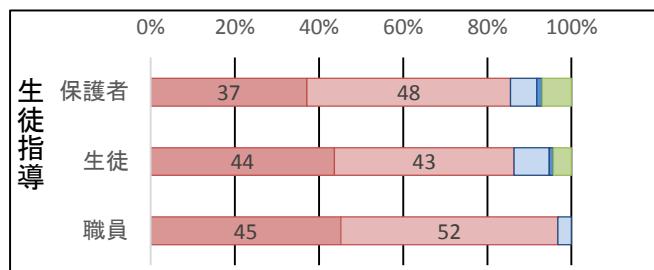
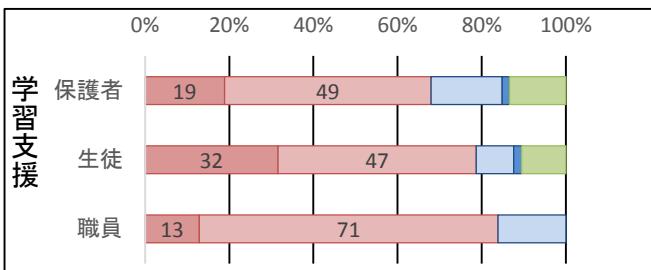
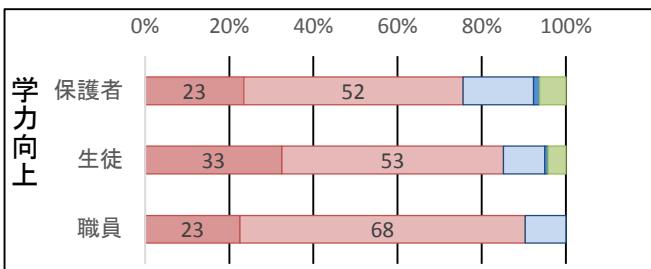
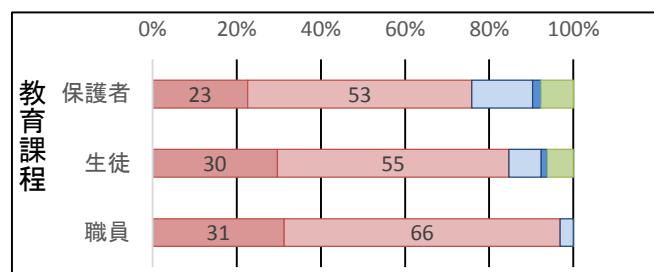
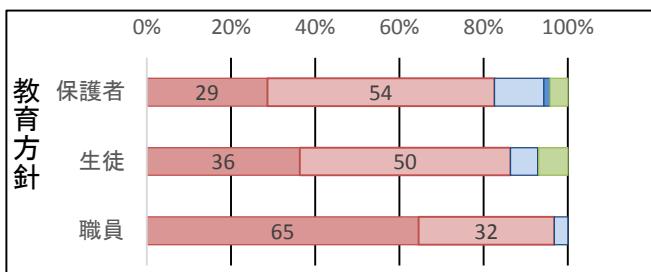


# 高瀬高校に求めるもの

皆さんが高瀬高校での学校生活に期待し、求めるものを、次の1～7から選んでください。  
(回答は最大3つまで可とします。)



# 学校教育評価結果 比較



**【A+Bの比較】**

- 教育方針: 職員は97%と非常に高く、保護者・生徒も80%を超えてる。
- 教育課程・学力向上:
  - 生徒は80%、職員は90%を超えてるが、保護者は80%を下回っている。
- 進路指導・学習支援: 職員は80%を超えてるが、保護者・生徒は80%を下回り特に、保護者は60%台とかなり低くなっている。※要検討課題
- 生徒指導・部活動・あいさつ運動:
  - 保護者・生徒は80%、職員は90%超えてる。
- 奉仕活動: 職員は80%を超えてるが、保護者・生徒は80%を下回っている。
- 環境整備: 保護者・生徒・職員ともに80%を超えてる。
- 広報: 保護者・生徒・職員ともに80%を超えてる。

# 平成30年度 生徒からの授業評価

平成30年7月実施

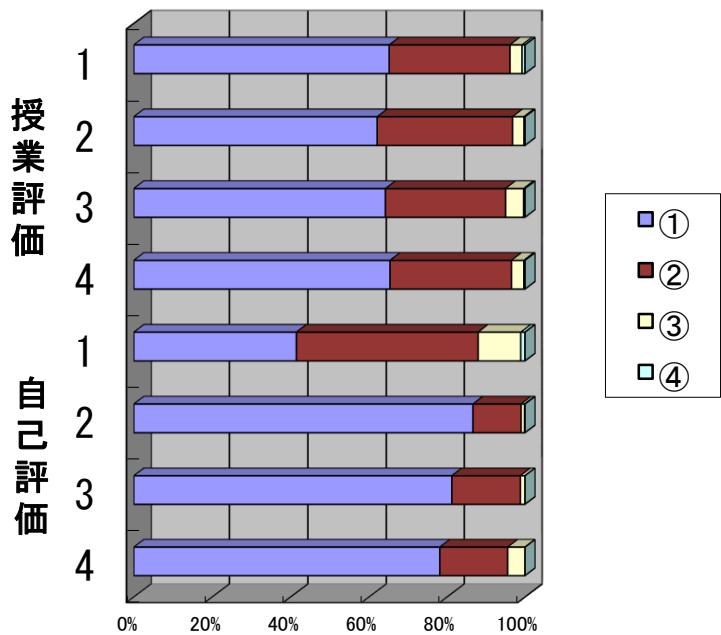
## 【質問事項】

授業評価	1	授業の進度はちょうどよい
	2	教え方に熱意や工夫を感じることができる
	3	板書や説明が丁寧で分かりやすい
	4	話し方は明確で、聞き取りやすい
自己評価	1	この科目に興味があり、意欲的に取り組んでいる
	2	チャイムを守り、準備して授業に臨んでいる
	3	授業に集中し、ノートやプリントをきちんと取っている
	4	提出物は期限を守ってきちんと提出している

## 【選択肢】

- ① よくあてはまる
- ② ややあてはまる
- ③ あまりあてはまらない
- ④ まったくあてはまらない

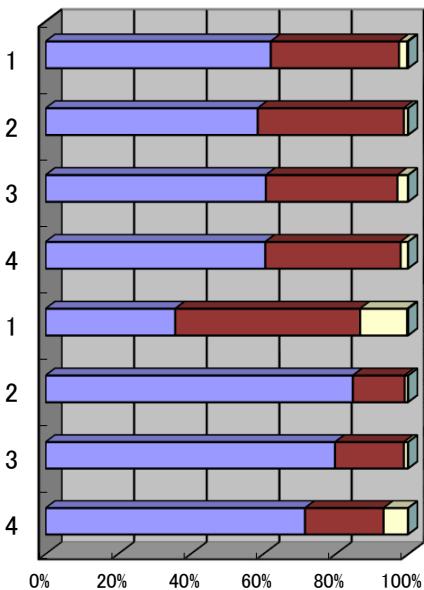
## 全体



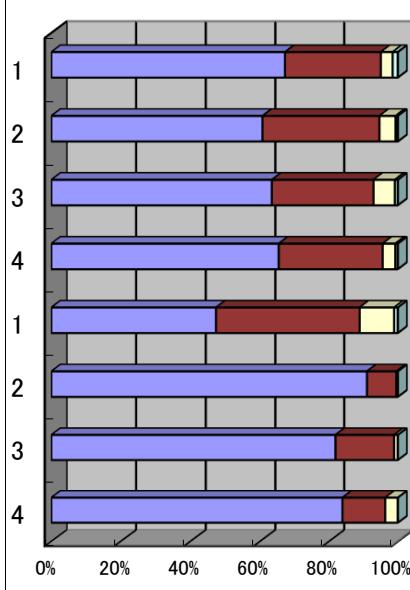
## 授業への要望等

- ・国語の授業でグループ活動はあまりないので最初ビックリしたけど自分たちで考えるし、分からなくてもグループだから友達の考えが知れて発見があり勉強になります！
- ・アクティブラーニングは生徒が楽しみながら学べるためとても良いと思います。写すだけで学ばない生徒も出てくると思うので、班でグループを作り、最後に誰かが発表すれば平等に学べると思います。
- ・文を丁寧に読むようになりました。また生徒同士で聞き合うので、普段話さない友達とも話すようになりコミュニケーション能力がついたと思います。
- ・先生の説明はとてもわかりやすいので、黒板を使った授業をしてほしいです。
- ・進むスピードが速いのと、もう少しひとつずつゆっくり説明して欲しいです。
- ・練習問題を解く時間や友達と話し合う時間をもっとほしい。テスト前に復習の時間がほしい。
- ・黒板に書くペースが速い。もう少し丁寧に教えて欲しい。練習問題を解く時間時間が少ない。
- ・英表でまだやっていない文法が出るので、授業の時に説明して欲しい。

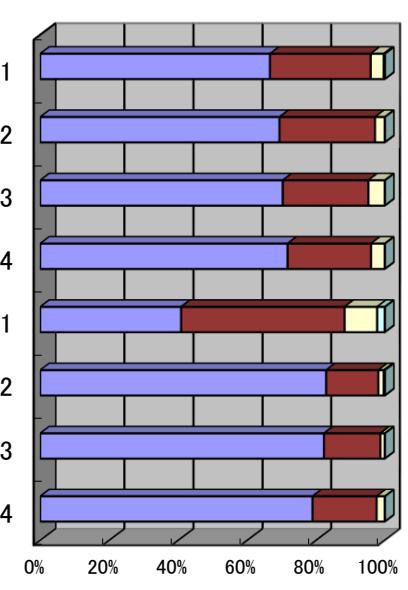
## 1年



## 2年



## 3年



**平成30年度 香川県立高瀬高等学校 自己評価（年度末評価）**

★年度末評価の基準 A：達成できた（80%以上） B：おおむね達成できた（50%以上～80%未満） C：あまり達成できなかった（30%以上～50%未満） D：達成できなかった（30%未満）

高瀬高校 中期ビジョン	高瀬高校の強みである「生徒指導」「部活動」「地域連携」を更に強化し、その基盤を基に自ら学ぶ生徒を育て、多様な「進路実現」を推進していく。 (1) 人間力向上：マナー日本一の高校作りを通じて、あいさつ、掃除、服装、時間厳守、言葉遣い、笑顔等に磨きをかけ、人間力の向上を図る。 (2) 学力向上：クラウドプラットフォームシステム(Classi)を活用した進路指導、校外模試の効果的な活用を通じて学習意欲の高揚を図り、学力の向上、進路実現を推進する。				
目標	具体的方策 ○数値目標	中間	年度末	年度末評価と来年度への課題	
総務	年間行事を円滑に遂行し、保護者と教員が協力して教育活動を推進する。  70周年記念にふさわしい事業を考え、専門委員会活動や同窓会の活動を充実させる。	・PTA総会、PTA役員会の出席者を増加させる。 ○PTA総会（P50%）、PTA役員会（P85%）  ・文化祭や記念講演への出席者を増やすために、周知を徹底する。 ○同窓会総会出席者：100人以上	B	B	「親同士の学びを取り入れたワークショップ」や学校保健委員会等に多くの参加をお願いいたしました。来年度も他の分掌と連携しつつ、行事の日程の工夫や早めの丁寧な案内により、多くの方に参加していただけるようにしたい。
	「分かりやすい授業」を実践し、生徒の適性に合った教育を行う。  教員の授業力向上を図る。	○生徒からの授業評価において、全項目A+Bが80%以上。  ○公開授業を全職員が実施する。（実施率：100%）	B	B	I C T機器等を用いて授業を行う教員が増えているが、十分に生徒の興味関心を引くまでは至らなかった。I C T機器を用いたアクティブラーニング型の授業をさらに積極的に行い、生徒に興味関心を持たせる工夫をしていきたい。
進路指導	一人一人の生徒に明確な進路目標を持たせ、その実現のための行動を起こさせる。  教員間で進路情報を共有して共通理解をした上で、適切で継続的かつ効果的な進路指導をする。	・講話、進路だより、Classiや面接などにより、進路情報を効果的に伝え、進路意識を高揚させる。 ・学習状況検査や校外模試を意識させ、学力の定着を図る。 ○ポートフォリオを通じて、生徒の思いや活動の記録を年間5回以上行う。  ○進路に関する情報は各学期1回以上、年間10回以上提供する。 ・学習状況検査の結果や分析を教員間で共有する。 ・学級担任による面接等に役立つ情報を提供する。	C	B	学習状況検査の結果を用いた面接やClassiの利用は、順調に定着してきた。しかし、学力の定着や進路意識の高揚には至っていない。学習状況検査の結果を用いた面接やClassiの利用などを通じて、さらに進路意識の高揚を図りたい。また、学習習慣を確立させ、学力の向上と定着を目指していきたい。
	基本的生活習慣の向上を目指す。特に遅刻を減らす。  TPOを考え、他人の気持ちを考えた言動がとれる生徒の育成を目指す。	・年間遅刻回数を減らす。  ○いじめのない学校生活を目指す。（いじめゼロ）	C	C	不注意による遅刻は1月末で100件弱と少なかった。ただ、同じ顔ぶれの者が始業時間ギリギリに来たり遅刻したりするので、個別に諭していきたい。
特別活動	生徒ひとりひとりが活気あふれる部活動を展開し、その活動を通して学校の活性化を目指す。	・入部率を増加させる ○入部率：運動部男子85%・女子55%、文化部全体25%	B	A	10月以降ほぼ同率の入部率で推移したが、男子運動部員の入部率が目標値まで届かなかった。来年度は、活動の活性化や勧誘活動を推進していきたい。
	主体的に考えて行動でき、自身の存在価値を認め、自尊感情に満ちた生徒を育成する。	・ハロープロジェクトやクリーンプロジェクト、高瀬クリーン作戦、体育祭や学校祭、地域ボランティア等に、主体的に参加するよう呼びかけや運営を行なう。	B	B	自発的にハロープロジェクトを実施したが、比較的大勢の生徒が参加してくれた。高瀬クリーン作戦の実施方法については、来年度再検討したい。
人権・同和教育	生徒：人権福祉センター・児童館の文化祭への参加を企画したり、学校祭における保育園児との交流事業を行ったりする。 教職員：人権福祉センター・児童館の文化祭・研修会への参加を促したり、関係小中学校主任・支援担当との研修を行ったりする。	・生徒・職員の人権福祉センター、児童館等への訪問数を、前年並に維持する。	B	B	高瀬町文化祭には2年4組とチアリーダー有志がダンスを披露した他、ボランティアとして19名の生徒が参加する等積極的に交流できたが、1年生の参加がなかったのが残念だった。教職員が生徒に対して、地域交流へ積極的に参加するよう促す必要がある。来年度も、各関係学校職員との研修や地域交流を続けていきたい。
環境保健	心身の健康の保持増進を目指した積極的な健康づくりをさらに推進する。	・時期ごとの健康上の問題点について、情報発信を行い、啓蒙活動を行う。 ・保健便りを毎月発行し、保健委員により周知、掲示を行う。 ・定期健康診断、事後指導を行い、未治療者をなくす。	B	B	未治療者については、休業前後に呼びかけ指導を行い、3年生には歯科保健指導を行う等再度治療を促した。今年度は大きな感染症の流行はなかったが、予防の為にマスクをする等、健康に対する意識は少しづつ高くなっている。来年度も齧歯の治療のこと等、自己の健康の保持増進に対する意識をさらに高めていきたい。
	清掃を通じてやる気と考える力を伸ばし、毎日の清掃で心を磨き人間力の向上を図る。	・毎日の清掃を、生徒・教職員全員で、一生懸命徹底して行う。 ・取り掛かりを早くして、積極的に時間いっぱい清掃活動が行えるようにする。	B	B	清掃の開始が授業の終了時間によって遅れることがあるので、できるだけ工夫して早く清掃できるように指導していきたい。清掃用具が傷んでいる所も多々あるので、年度当初に確認して、効率よく清掃活動ができるようにしていきたい。
教育相談	学校生活においてさまざまな悩みをかかえる生徒に対し、関係職員・保護者・スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）・外部の専門機関などと連携して、それぞれに応じた適切な支援を行う。	・教育相談だよりの発行や、Classiやホームページへの掲載を通じてSCの来校日やSSWについて広く知らせ相談しやすい環境づくりをする。 ・ケース会等を実施して、情報共有や連携をスムーズに行なう。 ・SCによる生徒対象のメンタルヘルス研修やSSWによる職員対象の特別支援教育研修を実施する。	C	B	ケース会等での情報共有やSC・SSWと連携しながら取り組むことができた。学期ごとに教育相談だよりを発行することで、SC・SSWへの相談が増えた。1年生を対象にSCによるメンタルヘルス講話やSSWによる職員対象の研修会を実施した。様々な悩みを抱える生徒に対して、教育相談部を中心に関係職員で情報を共有し、SCやSSWと連携をとりながら、個に応じたサポートを行っていきたい。
1年団	基本的生活習慣を身につけ、高瀬高校の生徒としての自覚を持って、生き生きとした学校生活を送れるよう指導する。	・1年団職員全員で指導する。 ○1か年皆勤者数：65名以上 ○1か月遅刻者数：述べ15名以下	B	B	学習面では中間評価の時より改善が見られたが、まだ一部の生徒が欠点を保有しており心配な状況である。出欠状況は全体としては良好であると思う。数値目標は、達成できるかどうか微妙な状況である。2年生は中だるみになるといわれ、成績、出欠状況ともに悪くなる傾向があるので、学年団全職員で指導し良好な状態を続けたい。
2年団	基本的な生活習慣を身につけ、学校の中心としてさまざまな活動に意欲的に取り組み、生き生きとした学校生活を送れるよう指導する。	・積極的にきちんとした挨拶や清掃ができるように取り組ませる。 ・できるだけ早期に明確な進路目標（志望校・進路先）を持たせる。 ○1か年皆勤者数：70名以上	B	B	挨拶・清掃についてはまずまずの評価だが、積極的に取り組めたかどうかは今一步かもしれない。進路面では、進路説明会や冬休みの学習会及び3学期初めの小論文がイノベーション等を通して意識の向上が見られた。現在皆勤者は76名で目標が達成できそうである。挨拶については、もっと大きな声でかつ笑顔を交えてさせ、清掃活動についても、学校に恩返しするんだという意識を持たせたい。学習面では、全体として、AO入試や推薦入試等はできるだけ受けずに、一般入試を目指して粘り抜く意識を持たせていきたい。
3年団	3年生としての自覚を持ち、受験生として進路目標を明確にさせ、その実現のために学力の向上を図る。	・ヒューマンスタディや個人面談等の機会を利用し、各自の進路目標を1学期末までに決定し、その実現に向けて具体的な行動を起こさせる。 ・一般入試まで粘り抜く姿勢を持たせる。 ○家庭での学習時間を増やす。 (年度初めより平日+1時間、休日+2時間)	C	B	10月以降多くの生徒が進路目標に向かって努力し、自分の進路を決定することができた。現在、一般入試を受験中の生徒も粘り強く頑張っている。進学の生徒も就職の生徒も受験に向けて取り組み始める時期がやや遅かったように思う。できるだけ早く受験生としての自覚を持たせ、学習に取り組ませていきたい。